

目次

令和5年度事業報告及び令和6年度事業計画	1 頁
サツマイモ茎根腐れ細菌病について	7 頁

◇令和5年度事業報告及び令和6年度事業計画

I 令和5年度事業報告

1. 会員への情報提供

(1)いも類振興情報及びいも類研究会ニュースレターの送付

いも類に関する試験研究の成果や新品種情報、農林統計、農林水産予算の概要等を掲載したいも類振興情報を年4回全会員に配布した。

研究会関係のお知らせは、ニュースレター形式で A4 数枚にまとめていも類振興情報送付の際、同封する形とした。ニュースレターは JRTWeb にも掲載した。

(2)ホームページ及びメーリングリストの運営

ホームページの更新やメーリングリストの運用、サーバの管理やセキュリティ対策などを、研究会会員であるさつまいもカンパニー株式会社に委託して実施した。

なお、従来研究会ホームページに掲載していた「かんしょ品質評価研究会報告書」及び「いも類講演会資料」等は一般財団法人いも類振興会が新設したいも類振興会ホームページに移設した。

ただし、いも類研究会ホームページにメニューを残してリンクさせ、利便性を確保した。

① ホームページの更新等

JRTWeb に掲載したジャガイモ品種詳説、ジャガイモ博物館、ポテトチップス試食調査結果を更新した。現在の構成は概ね以下のとおりである。(下線部はリンクに変更したもの)

◇「じゃがいも情報」:じゃがいも品種詳説、ジャガイモ博物館、ポテトフィールド、じゃがいもに関する国内文献目録、じゃがいも Mini 白書、レシピ、リンク

◇「さつまいも情報」:さつまいも品種詳説、サツマイモ情報センター、サツマイモ資料館長日記、さつまいも Mini 白書、焼き芋小百科、レシピ、リンク

◇「評価試験等」:新品種等の試験栽培、かんしょ品質評価研究会報告書、ポテトチップス試食調査

◇「セミナー、イベント」:サツマイモ産業振興セミナー、いも類講演会、ジャガイモセミナー、国際焼き芋交流フォーラム

◇「資料・データ」:おいもの教材、おいもQ&A、いも・でん粉に関する資料(農林水産省)等

◇「研究会について」:研究会の会則や入会手続き、お問い合わせフォーム等。

② Facebook ページでホームページの更新情報を発信するとともに、会員発案事業(ポテトチップス試食調査、ジャガイモシストセンチュウ類抵抗性品種の普及に関する情報交換会、サツマイモ基腐病の現状と課題に関する情報交換会)等の告知を行った。

③ じゃがいも品種詳説、さつまいも品種詳説については、種苗法に基づく品種登録を行っている品種を中心に掲載することとし、じゃがいも品種詳説については近年種苗法に登録された品種を掲載した。

④ ホームページや Facebook ページ経由での外部からの質問に対応している。会員外の方からの問合せは

年間数 10 件に及び、適宜、メーリングリストで会員の方々にも照会したほか、サツマイモ事典、ジャガイモ事典等を参考にして回答した。

2. 研究会等の開催及び支援

(1) 第5回サツマイモ基腐病の現状と対応に関する情報交換会の開催

平成30年に国内で初めて発生が確認され、南九州で猛威を振るっていたサツマイモ基腐病は、これまでに北海道までの全国で発生が報告されている。令和5年度には8月31日(木)に第5回の情報交換会を Web 会議(Zoom ウェビナー)形式で開催し、本年度の発生状況や対策の実施状況と効果等について紹介、意見交換を実施した。会議申し込み者は約250名で、この問題への関心の高さを伺わせた。

(2) 第2回 PCN 類抵抗性品種の普及に関する情報交換会

ジャガイモシストセンチュウ類(Potato cyst nematode)に対する最も効果的な対策は抵抗性品種の作付であるが、青果用品種では転換が進んでいないことから、シロシストセンチュウも含めた青果用抵抗性品種の普及に向けて、10月31日(火)に Web 会議(Zoom ウェビナー)形式で情報交換会を開催した。会議申込者は約190名を数えた。

(3) ばいしょ加工適性研究会及びかんしょ品質評価研究会への協力

(公財)日本特産農作物種苗協会によるばいしょ加工適性研究会及び(一財)いも類振興会によるかんしょ品質評価研究会における農研機構等の新規育成系統の評価試験の実施及び研究会の開催と報告書取りまとめに協力した。

(4) 農林水産省消費者の部屋「さつまいも、じゃがいもの週」への協力

農林水産省消費者の部屋特別展示「さつまいも、じゃがいもの週」(令和5年10月16日～20日)の開催に協力し、(国研)中日本農業研究センター及び九州沖縄農業研究センターからはさつまいもの各種品種、(国研)北海道農業研究センター、(地独)北海道立総合研究機構北見農業試験場、長崎県農林技術開発センター中山間営農研究室からはじゃがいもの各種品種、会員企業からはさつまいも、じゃがいもの青果、「ポテトサラダ」「ポテトチップス」、「焼酎」、「干しいも」、「けんぴ」、「色素」等の提供を得た。

(5) その他

川越市で開催したコエド芋パーク(令和6年2月10日～12日)を後援する等の協力を行った。

3. MiNi 白書作成

じゃがいも及びさつまいも MiNi 白書については、研究会ホームページに掲載している MiNi 白書を適時改正することにし、冊子として発行することは取りやめた。

4. ジャガイモ新品種試験栽培の実施

ジャガイモ新品種試験栽培については、申込者が極端に減少したこと、新しい品種も含めて園芸資材販売店などでも購入可能となったことなどから本年も実施を見送ることとなった。

5. 会員発案事業

ポテトチップス試食試験調査の実施

本年はポテトチップス用品種として開発された「しんせい」、「ハロームーン」とカラー品種の「シャイニールビー(赤色)」とすでに製品化している「キタヒメ」、「オホーツクチップ」の5品種で評価を行い、調査結果をホームページに掲載した。

6. 総会及びいも類講演会の開催

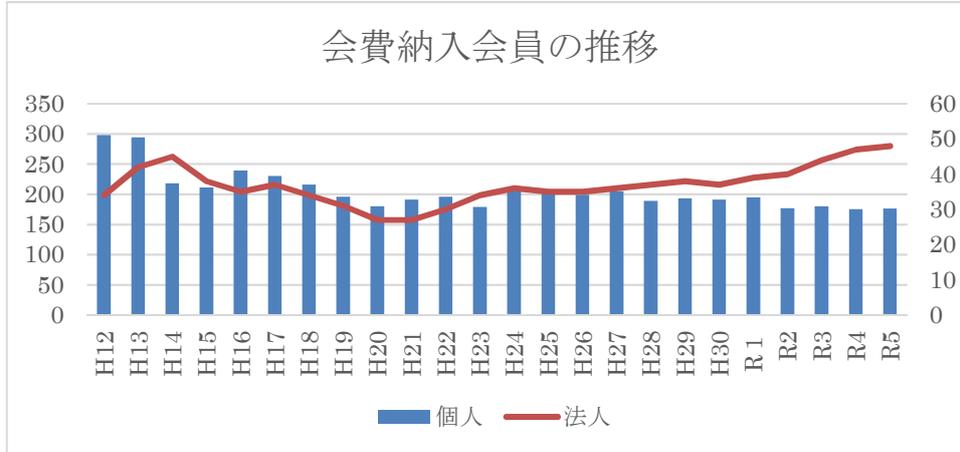
令和5年度の総会及び一般財団法人いも類振興会と共催のいも類講演会は、令和6年3月15日(金)に東京都

内で対面で行うとともに、リモート(Zoom ウェビナー)方式のハイブリッドで行った。

7. 会員数の状況

令和5年度会員数は、令和6年3月末現在で個人会員183名(未納入者7名)、法人会員は48社となっている。

会費納入会員数の推移



8. 他団体との連携強化

会員が運営する一般社団法人さつまいもアンバサダー協会、川越のサツマイモまんが資料館などが行う行事等についてはメールリストや研究会ニュースを通じて広く会員に情報を提供した。

9. サツマイモ情報センターの活動

令和4年度に発足したさつまいも情報センターについては、本年度は第5回サツマイモ基腐病情報交換会の開催と、それを手始めとしたサツマイモ情報の発信、関係機関の連携等を行った

10. 日本いも類研究会役員(令和5年度)

会 長	小 卷 克 巳	元福島県農業総合センター所長 (農林水産省産学連携支援コーディネーター)
副 会 長	岩 井 菊 之	(有)菊水堂 代表取締役社長
幹 事	片 山 健 二	農研機構 北海道農業研究センター寒地畑作研究領域 領域長補佐 兼 畑作物育種グループ長
同(新任)	田 口 和 憲	農研機構中日本農業研究センター温暖地野菜研究領域 栽培管理グループ 上級研究員
同(新任)	小 林 晃	農研機構九州沖縄農業研究センター暖地畑作物野菜研究領域 カンショ・サトウキビ育種グループ グループ長
同	坂 本 悠	長崎県農林技術開発センター 畑作営農研究部門 中山間営農研究室 主任研究員
同	林 一 也	東京家政学院大学 教授
同	山 田 英 次	川越いも友の会 事務局長
会 計 監 査	西 郷 伸 二	株式会社ホープ執行役員
顧 問	齊 藤 浩 一	(株)川小商店代表取締役社長
同	田 中 智	元カルビーポテト(株)参与
同	津 久 井 亜 紀 夫	元東京家政学院大学教授
事 務 局 長	中 澤 健 雄	(一財)いも類振興会 需要推進部長
事 務 局 長 補 佐	橋 本 亜 友 樹	さつまいもカンパニー株式会社代表取締役

注: 農研機構は、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構の略
日本いも類研究会 法人会員(計 48法人)(令和6年3月現在)

株式会社ホープ 三栄源エフ・エフ・アイ株式会社 公益社団法人農林水産・食品産業技術振興協会 十勝農業協同組合連合会 日農化学工業株式会社 東洋農機株式会社 カルビーポテト株式会社 三好アグリテック株式会社 ホクレン農業協同組合連合会 ケンコーマヨネーズ株式会社 さつまいも産業振興協同組合 芽室町農業協同組合 大樹町農業協同組合 株式会社松尾青果 士幌町農業協同組合 幕別町農業協同組合 愛知県経済農業協同組合連合会 公益社団法人北海道農産基金協会 株式会社柳川採種研究会 カネコ種苗株式会社 株式会社川小商店 株式会社舟和本店 株式会社幸田商店 カルビー株式会社	有限会社西田農産 株式会社大隅半島農林文化村 カルビーかいつかスイートポテト株式会社 霧島酒造株式会社 なめがたしおさい農業協同組合 さつまいもカンパニー株式会社 株式会社ユーキフーズ 日本種馬铃薯協会 有限会社内山青果 公益財団法人日本特産農産物協会 白ハト食品工業株式会社 大口酒造株式会社 有限会社アグリプロセス宮崎 茨城中央ほしいも協同組合 特定非営利活動法人うつくしま・ふくしま農産物普及推進協議会 アソシエイトアグリ株式会社 株式会社カネカ 株式会社ベルディ 株式会社カワコファーム エイシン電機株式会社 日本スターチ・糖化工業会 Japan potato 有限会社 有限会社南橋商事 シブヤ精機株式会社
---	---

2 令和6年度事業計画

1. 会員への情報提供

(1) いも類振興情報及びいも類研究会ニュースレターの送付

いも類に関する試験研究の成果や新品種情報、農林統計、農林水産予算の概要等を掲載したいも類振興情報及びニュースレター(研究会関係のお知らせ)を年4回全会員に配布する。

(2) ホームページ・メーリングリストの運営

引き続き、ホームページの更新やメーリングリストの運用、サーバの管理やセキュリティ対策などを、研究会会員であるさつまいもカンパニー株式会社に委託して実施する。

じゃがいも品種詳説、さつまいも品種詳説、ポテトチップス試食調査結果等を随時更新するとともに、いも類振興情報掲載記事のバックナンバーを JRTWeb から閲覧できるようにして、会員の便宜を図る。

外部からの問合せは事務局全体で適切に対応する。

2. いも類に関する研究会等の開催及び支援

ばれいしょ加工適性研究会及びかんしょ品質評価研究会に引き続き協力し、特に加工向け品種の普及に向けて会員への周知等を積極的に行っていく。

じゃがいもやさつまいもに関するタイムリーなテーマについて、オンライン(Zoom ウェビナー)を中心に対面での開催を含めて勉強会や情報交換会を随時行う。

3. 日本いも類研究会総会の開催

令和6年度定期総会については、令和7年3月に対面及びオンライン併用のハイブリッド方式で開催するとともに、(一財)いも類振興会との共催で講演会を開催する。

総会、講演会については、オンライン(Zoom ウェビナー)で会員に周知する。講演会についてはホームページで広く一般の方への参加を呼び掛ける。

4. 他団体との連携強化

(一財)いも類振興会の行う各種事業に協力するとともに、さつまいも関係では一般社団法人さつまいもアンバサダー協会や川越のサツマイモまんが資料館など会員独自の活動と連携して、より広範ないも類の振興を図る。なお、催し物を開催する場合はオンライン視聴ができるように取り組む。

5. 会員の発案による事業の実施

研究会では会員がそれぞれ研究会に積極的に参加することにより運営の活性化を図るため、会員発案による事業を実施することとする。なお、事業の実施に当たっては以下の条件を満たすこととし、申し出の早い順に採択するものとする。

- ・基本的にいも類の生産・流通・消費の拡大を目指す内容のものであること。(イベントの案内や会員への資料送付は事務局も協力)
- ・経費の対象は講演等のための講師旅費、謝金等とし、原則として人件費、旅費及び機械施設整備費は経費の対象としない。
- ・予算の範囲内での事業規模を基本とする。
- ・事業実施希望会員は、事業計画及び収支計画を事務局に提出するとともに、事業が終了した場合は遅滞なく事業実施報告(資料であれば印刷部数)及び経費請求書を事務局に提出する。

6. 会員の確保及び会費の徴収

会員の高齢化が進み、ここ数年個人会員が減少傾向にあることから、各種の勉強会やセミナー等を対面で開催することも含めて新たな取り組みについて検討を行うとともに、会員管理については以下の内容で適切に実施する。

- ・会費納入案内は4月に送付することとし、納入期限は7月末日とする。
- ・会費納入案内時には、払込取扱票とともに会員住所変更届を同封し、的確な会員管理に努めるものとする。
- ・令和5年度会費未納会員のうち、令和7年3月末までに会費の納入がない場合は退会希望とみなし、必要な事務処理を行う。

7. 研究者・専門家リストの作成

メディアや個人から寄せられる数多くの質問や相談に適切に対処できるよう、研究会に所属している研究者・専門家の経歴や対応可能な領域を整理する。

8. サツマイモ情報センターの運営

令和5年度に引き続きサツマイモ基腐病情報交換会を開催する予定。また、ホームページにおけるサツマイモに関する情報発信(サツマイモ栽培の機械化、スマート化等も含めた栽培情報や加工)を強化し、セミナー(テーマ案:かんしょに関する補助金の事業内容説明、今後の加工向け品種の動向、海外の動向)の開催を進める。

9. 日本いも類研究会役員(令和6年度)

会 長	小 卷 克 巳	元福島県農業総合センター所長 (農林水産省産学連携支援コーディネーター)
副 会 長	岩 井 菊 之	(有)菊水堂 代表取締役社長
幹 事	片 山 健 二	農研機構 北海道農業研究センター寒地畑作研究領域 領域長補佐 兼 畑作物育種グループ長
同	田 口 和 憲	農研機構中日本農業研究センター温暖地野菜研究領域 栽培管理グループ 上級研究員
同	小 林 晃	農研機構九州沖縄農業研究センター暖地畑作物野菜研究領域 カンショ・サトウキビ育種グループ グループ長
同	坂 本 悠	長崎県島原振興局農林水産部雲仙地域普及課係長
同	林 一 也	東京家政学院大学 教授
同	山 田 英 次	川越いも友の会 事務局長
会計監査	西 郷 伸 二	株式会社ホープ執行役員
顧 問	齊 藤 浩 一	(株)川小商店代表取締役社長
同	田 中 智	元カルビーポテト(株)参与
同	津久井亜紀夫	元東京家政学院大学教授
事務局長	中澤 健雄	(一財)いも類振興会 需要推進部長
事務務局長補佐	橋本 亜友樹	さつまいもカンパニー株式会社代表取締役

注: 農研機構は、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構の略

各関係機関の長 殿

鹿児島県病害虫防除所長

令和5年度 技術情報第18号（サツマイモ塊根腐敗の原因菌）について（送付）

サツマイモ茎根腐細菌病，糸状菌のフザリウム ソラニーによる病害について，下記のとおり取りまとめましたので，周知及びご指導をよろしくお願いいたします。

なお，本情報は，病害虫防除所ホームページ (<http://www.jpjn.ne.jp/kagoshima>) にも掲載しています。



令和5年度 技術情報第18号

令和5年10月に，サツマイモ基腐病ではない塊根腐敗の発生が県内産地の一部で確認され，これらの原因菌として，サツマイモ茎根腐細菌病菌及びフザリウム ソラニーが分離・同定されました。

1 作物名 サツマイモ

2 原因菌と病徴

- (1) 令和5年10月に，サツマイモ基腐病ではない塊根腐敗の発生が県内産地の一部で確認された。
- (2) 収集された2点の腐敗塊根から，サツマイモ茎根腐細菌病菌 (*Dickeya* sp.) およびフザリウム ソラニー (*Fusarium solani*) が分離・同定（農研機構 九州沖縄農業研究センター，令和5年12月）された。なお，いずれの菌もサツマイモでは既知の病原菌であるが，県内における現在の発生状況や発生生態は不明な点が多い。
- (3) サツマイモ茎根腐細菌病は，細菌による病害であり，茎や葉柄が基腐病よりも軟らかく腐敗し，時折，株全体が萎凋，枯死する。塊根も軟らかく腐敗し，健全部との境界が黒褐色になるのが特徴であるが，境界が変色しない場合もある（図1左）。
- (4) フザリウム ソラニーによる病害の病原菌は，糸状菌であり，茎の病変部に橙色の粒（子のう殻）を形成することもある。また，塊根に円形の病斑を形成することが多く，病斑からやや硬い腐敗を起こす（図1右）。

3 防除対策

- (1) サツマイモ茎根腐細菌病菌及びフザリウム ソラニーとも基腐病菌と同様に，一般的に，育苗床では健全種イモの徹底した選別，異常株の抜き取り等，本ぼでは排水対策，発病株の抜き取り等の基本対策を遵守することが有効と考えられる。
- (2) 傷があると病原菌に感染しやすいことから，傷の原因となる害虫対策も十分に実施する。
- (3) 定植時の苗の植え傷みは病害発生を助長する可能性があることから，高温・乾燥・強風時の定植は極力避ける。

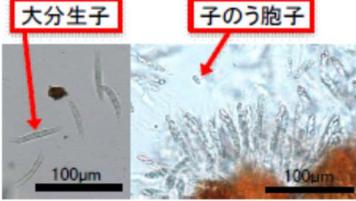
類似病害 比較表	くきねぐされ 茎根腐細菌病	フザリウム ソラニー <i>Fusarium solani</i> による病害
茎の 症状	 <p>茎や葉柄が軟らかく腐敗</p>	 <p>病変部にオレンジ色の粒(子のう殻)を形成することがある</p>
塊根の 症状	 <p>軟らかく腐敗 健全部との境界が黒褐色</p>	 <p>病斑からやや硬い腐敗</p>
病原菌	<p>細菌 <i>Dickeya</i> sp.</p>  <p>LB培地で育てた病原菌</p>	<p>糸状菌 <i>Fusarium solani</i> 種複合体</p>  <p>大分生子 子のう胞子</p>

図1 サツマイモの茎根腐細菌病及びフザリウム ソラニーによる病害
令和4年版 サツマイモ基腐病の発生生態と防除対策から原因引用
*各病害の症状の一部を示しているが、このような症状にならない場合もある。